資料

世界各地の伝統的衣服・住居

世界各地の伝統的衣服

●低緯度高山地域（アンデス地方）●

低緯度で標高が高く，昼夜の気温差が大きく紫外線も強いため，保温性があり着脱しやすい貫頭衣（ポンチョ）や肩掛けなどを重ね着し，つばのついた帽子や頭巾をかぶる。

この地域で飼育されているアルパカの毛を用いた毛織物を素材にする。

●寒冷地域（北アメリカ北極海沿岸）●

気温が低く，厳しい寒さから身を守るため，保温性と断熱性に優れた獣皮革（動物の毛皮や皮）を素材にした衣服がみられる。狩猟で捕獲したアザラシやカリブーのものが用いられる。

●乾燥地域（アラビア半島）●

乾燥地域であり，日中の高温と強い日差し，砂嵐による砂ぼこりから身を守るため，通気性と吸湿性に優れた木綿などを素材にした裾の長いゆったりとした長袖の衣服が着用される。頭も布で覆い，イスラム圏であるため女性は家族以外の男性に肌を見せてはならず顔まで布で覆う場合も多い。

世界各地の伝統的住居

●乾燥地域（北アフリカ）●

乾燥地域では，日中は強い日差しで気温が上がるが，夜間は放射冷却で気温が下がり日較差が大きくなる。そのため，保温性と断熱性に優れた日干レンガを用いた厚い壁で住居をつくり外気を遮断する。

降水量の多い地域では，雨水の排水を円滑に行うために屋根に傾斜をつける場合が多いのに対して，乾燥地域ではその必要性がないため，屋根の平らな住居が一般的であり，平屋根であれば屋上の空間を利用できるという利点もある。

◆アドベ（日干しレンガ）　土や粘土に藁や草を混ぜて成形し天日乾燥させたもので，木材や石材の乏しい乾燥地域や高山地域で建材として広く使われる

焼成レンガと異なり水に濡れると崩れやすくなるが，雨がほとんど降らない乾燥地域などでは支障はない

ただし，強度は不十分なため地震による建物被害が大きくなる要因となっている

●高温多雨地域（ニューギニア）●

高温多雨地域では，住居を高床式の構造にすることで，野獣・害虫の侵入を防いだり，風通しを良くし湿気を防いだり，浸水被害を避けるなどの効果がある。また，敷地を水平に整地する必要性がなく，傾斜地や水辺にも建設できるという利点もある。

＋ NOTE ＋